株式市場新聞
www.marketpress.jp
2021
7/26
月曜日
発行元　株式会社 株式市場新聞社
〒530-0005
大阪市北区中之島４－２－２８甲南アセット中之島ビル
TEL 06-6105-1904

日経平均株価
２万７５４８円００銭
▲１５９円８４銭（前日比）
ＴＯＰＩＸ
１９０４．４１
▲１５．５２（前日比）

好内容確認なら見直し

3月期1Q決算発表本格化へ

いよいよ3月期企業の第1四半期（4～6月）決算発表が本格化する。3カ月前の通期予想発表時は、ワクチン接種による新型コロナ感染沈静化から経済活動正常化への期待が高まっていた。しかしながら現状ではデルタ株などの変異体感染拡大で東京都では4度目の緊急事態宣言が発動され、当初のシナリオに疑念を抱く投資家が増えている。第1四半期で好内容が確認された企業は不安払拭から見直し買いを集める可能性が高そうで注目したい。

半導体は信越化に注目

第１四半期決算発表がスタートした

3月期企業の第1四半期については21日に**日本電産**（6594）が発表されたが、連休明けとなる26日の**日東電工**（6988）、**KIMOTO**（7908）、**信越ポリマー**（7970）を皮切りに本格的にスタートする。日東電工と信越ポリマーは半導体部材向けの好調が見込まれ、KIMOTOはタッチパネル用フィルムに加えて抗ウイルス機能を付加したフィルムの拡大が見込まれており、同じく26日の**日本精線**（5659）も半導体向けの好調が見込まれる。

半導体では27日発表の**信越化学工業**（4063）は通期予想を開示していないが、営業利益では最高益となる前期比18・6％増の4650億円あたりがコンセンサス。半導体シリコンの好調が確認されれば、見直される可能性が高い。また翌日の28日には**SCREENホールディングス**（7735）も控える。ゲームでは29日のカプコン（9697）と8月5日の**任天堂**（7974）。カプコンは前期にダウンロード販売が脅威的な伸びとなったが、好調が維持されているかがポイント。任天堂は有機EL搭載の新型スイッチの販売台数をどこまで織り込むのか。

自動車では8月4日の**トヨタ自動車**（7203）、アニメコンテンツでは28日の**東映アニメーション**（4816）が注目される。

日経平均日足チャート

前週の動意銘柄

ファーマフーズはS高

ロート製薬と資本業務提携

週明け19日、**ファーマフーズ**（2929）がストップ高。**ロート製薬**（4527）との資本業務提携を発表したことが好感された。高付加価値の新規育毛剤、機能性食品及びスキンケア製品の共同開発を行う。美白素材「セレプロン」を用いたスキンケア製品開発など、特に東南アジア地域での販売拡大を目指す。

ファーマフーズの日足チャート

ネットマーケは急落

ネットマーケティング（6175）が急落。21年6月期の業績予想について、連結営業利益で4億円から5億8400万円（前期7億3500万円）へ上方修正した。ただ、不正アクセスによる会員情報の一部流出を受け、「Omiai」サービスにおける新規会員獲得を目的とするデジタル広告の出稿を全面的に一時休止。この措置に伴い広告費が削減された結果であることからネガティブ視されている。

キヤノン大幅上方修正

20日、**キヤノン**（7751）が急反発、東証1部値上昇率トップに立った。21年12月期の業績予想について、連結売上高で3兆5000億円から3兆6000億円（前期比13・9%増）、営業利益で1980億円から2830億円（同2・6倍）大幅に上方修正。フルサイズミラーレスカメラや交換レンズなどの好調な販売が続いており、メディカルや半導体露光装置なども好調という。

メガバンク米金利低下

三菱UFJフィナンシャル・グループ（8306）、**三井住友フィナンシャルグループ**（8316）、**みずほフィナンシャルグループ**（8411）などメガバンクが安い。米10年債利回りが前週末比0・10%低い1・19%で取引を終え、一時5カ月ぶりの低水準まで低下したことで運用環境悪化が懸念された。新型コロナデルタ株感染が広がっていることから景気回復への不透明感が広がっている。

TBGはPOSレジ採用

TBグループ（6775）が急伸。POSレジ「TOUCH REGI FT-800P」が、**グローリー**（6457）の業界初となるPOSレジと釣銭機をセットにしたサブスクリプションサービスに採用されたと発表し、収益貢献が期待された。

公開価格28%上回る

アシロの初値

アシロ（7378）が東証マザーズに新規上場、公開価格1160円を27・5%上回る1480円で初値が生まれた。弁護士業界とITを結びつけたリーガルメディアサイトの運営などを行う。

公開価格39%上回る

ランドネットの初値

21日、**ランドネット**（2991）がジャスダック市場に新規上場、公開価格3830円を38・9%上回る5320円で初値が生まれた。同社は中古不動産の買取販売、買取り後のリフォーム・リノベーション、仲介及び賃貸不動産の管理を行う。

正直じいさんの株で大判小判

好業績出遅れ株へ先回り

前週の東京市場は東京五輪変則4連休を控えた3日立ち合いで、持ち高調整の売りに下値を探りました。新型コロナデルタ株の感染が世界各地の広がっていることも買いを手控えさせています。21日は米国株の急反発を受け、短期的な突っ込み警戒感から買戻しが先行、一時500円近くに上げ幅を広げましたが、一巡後は戻り売りに伸びず悩んでいます。後場は持ち高を一方に傾ける動きがなく、前場終値水準で膠着しました。

連休明けからは3月期企業の1Q決算発表が本格化してきますが、全般調整が続いたことで、好決算銘柄には買いが入りや推奨銘柄についての増益の好決算を応がいいようなら、好業績出遅れ銘柄への先回り買いを入れてみたいと思います。

花咲 翁

リファインS高で最高値

三菱ケミと廃プラリサイクル

２１日、リファインバースグループ（７３７５）がストップ高、最高値を更新した。三菱ケミカルと廃プラスチックをリサイクルするプラスチック油化事業への原料プラスチック供給について基本合意書を結んだと発表したことで、新規事業拡大と収益貢献が期待された。２３年に原料プラスチックの製造・供給を開始する予定で、最大供給量２万トンの回収網の構築、原料化拠点の新設・原料化設備への投資などを進めるとしている。

タマホームワクチン禁止

タマホーム（１４１９）が大幅続落。週刊文春が玉木伸弥社長が社内に事実上のワクチン禁止令を出している報じた。「ワクチンを接種した場合は無期限の自宅待機」「（自宅からの社用）ＰＣへのログインは禁止」などのルールを伝え、「自宅待機期間中は欠勤（無給）扱いとする」といったことが社内資料に記載されており、労働基準法違反、パワハラ行為に当たる可能性があるという。

前週の動意銘柄

転ばぬ先のテクニカル

正念場に差し掛かる

豪放３発で女子ソフトボールチームのコールド勝ちから東京五輪が始まりました。日本選手の活躍に国民がテレビ観戦に夢中になれば、新型コロナの感染も減少に転じないかと期待したいものです。実際、大手家電メーカーでは４Ｋ、８Ｋのテレビの売れ行き好調とのこと。なんだかんだ言ったところで日本選手の活躍を見たい気持ちに代わりありません。大会期間中にワクチン接種が進めば、デルタ株に怯える株式市場の支援材料となりましょう。

先週の日経平均は反落となりました。週足並び黒から下放れの陰線形成となりました。下値抵抗ポイントは１月安値と５月安値、そして６月安値と７月安値を結んだ２本の延長線が重なる２万７１６０円近辺であり基本は押し目買いですが、明確にここを割り込んだ場合は２万５２００円まで下落の可能性もあり戻り売りに変わります。

日々勇太朗

2021年 春 新商品

株式会社 大森屋

想像の上をいく新食感で、ごはんのお供のテッペンを獲る!

2種類の「パリッ」が食欲をそそるふりかけ登場!

おすすめポイント

1. パリパリとしたわかめの食感
   ＋
   ●韓国ごま油風味 ごま油の風味が食欲をそそる。
   ●梅ごましそ風味 赤しそと梅の酸味が食欲をそそる。
2. 大きさと食感の異なる2種類のパリパリわかめを使用。
3. 素材感のある味わいでトッピング調味料にも最適。
   混ぜご飯 / 冷や奴 / たたきキュウリ など

パリパリの書体やイラストキャラクターによるインパクトの強いパッケージデザイン。

株式会社 大森屋 http://www.ohmoriya.com/

特選銘柄

英和（9857）

構造変化ニーズ取込む

カーボンニュートラルに貢献

英和（９８５７）は計測・制御機器に強みを持つ技術専門商社で組立・製造子会社を擁し、高い技術力が評価され、大手企業を中心に数多くの固定顧客を有している。独立系であることからあらゆる製品を提案することが可能で、さまざまな分野で同社のビジネスチャンスが拡大している。

官公庁をはじめとする社会インフラ市場において災害対策や更新需要に基づく投資需要を取込み販売が大幅に増加し、石油化学業界やプラント・エンジニアリング業界向けにコンビナートエリアでの定期修理に伴う更新需要が堅調に推移。また、高付加価値営業の強化や生産性向上を目的とした業務効率化に取組んでおり、前２１年３月期は増収増益を達成した。

コロナ禍において変化した新しい生活様式の定着、少子高齢化に伴う労働人口の減少を背景に生産性向上や業務効率化の推進が見込まれるほか、２０５０年のカーボンニュートラル社会実現に係る投資、環境・安心・安全・品質の徹底や自然災害に対する防災・減災に関連する設備投資が見込まれ、今２２年３月期は連結営業利益で１７億５０００万円（前期比０．４％増）と増益を見込んでいる。

燃料電池構成部材の研究開発を行う国公立研究機関や大学及び民間企業の研究者にＪＡＲＩ（一般財団法人日本自動車研究所）標準セルを応用した電解セルや試験装置も提供している。

防災・減災関連投資も

株式市場新聞 marketpressはＭＵＲＡＭＯブランドで商品を開発する株式会社たけむらとクラウドファンディングに挑戦します。

AI技術で作られたハイテクメガネ

あなたは１日に何時間スマホを見てますか？目の筋肉は鍛えないと衰えていきます。「アイトレーナー」はそんな弱った目の筋肉を鍛えるAI技術で作られたハイテクメガネです。柔らかくジャストフィットに調整できる鼻パッド、シャッタースピードは４段階、まずは一番早い２０HZから。１日５分程度目をぐるぐる動かしながら毎日トレーニングしてください。

※クラウドファンディング前に先行販売、ご興味がある方はお問い合わせページから

チャートから読む騰落銘柄

レントラックス（6045）

５月１３日に５０４円まで急落後は、２５日線を下値支持として上昇基調継続。７月１９日の６４０円突破すれば１月２２日高値６８７円抜けから７００円目指す展開を期待。成果報酬は美容系が好調。

ダイセキ（9793）

６月３０日に最高値５０６０円を付けた後も下値は堅い。大勢上昇トレンドのなか、２５日線の上昇で高値保ち合いが煮詰まる。収益増額含み、好取組みも株価を押し上げ、青空相場で噴き値局面が近い。

JINSHD（3046）

７月１日の８６４０円を高値に急落。７０００円台を割り込めば２月１日安値６６２０円までフシはない。都心中心に客数回復は緩慢で２１年８月期予想を減額。アナリストの業績修正次第では更なる下値懸念。

JR東海（9022）

日足陰転のあと一旦戻を試すが、２５日線に跳ね返され下値模索へ。新型コロナ感染再拡大に伴う旅客需要減退懸念に加え、押し目買いに信用買い残が積み上がり、当面１万５０００円台を維持できるかが焦点。

※チャートは日足

敏腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

外資に振り回される日本株

今週は個別株物色の展開

ハチロクのプロフィール

証券アナリストから証券会社の法人部長を経て、２２５先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における２２５先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。

先週の日経平均は前週末比約４５５円安と４週連続で週足陰線となった。新型コロナウイルスの新規感染者数が緊急事態宣言を発出している東京都を中心に拡大、東京オリンピック開催が危惧されるなどで株価は下落した。大幅下落は米国株の下落も影響しているが「下がるときは日本株から、戻るときは米国株から」である。

デルタ株の感染はワクチン接種をした人にもかかる人が多く、米国では３回目のワクチン接種を推奨している。日本においてはワクチン接種率は１回目で３０％、２回目終了した人は１９・５％であるが、そんな中で東京オリンピックは開催される。

来日する選手や関係者はワクチン接種を終えて直近にＰＣＲ検査を受けて来日しているが、それでもすでに感染者はでている。選手村が嫌でホテルに宿泊する選手が出るなど好き勝手に行動する団体も出てきた。危機管理能力が低い日本なので、オリンピック終了後また新種の「東京株」が発生しないことを祈るばかりである。

相場は米国株の戻りにより週初は戻りを試しそうである。５月１３日の安値（２万７３８５円０３銭）、９日の安値（２万７４１９円４０銭）、２０日の安値（２万７３３０円１５銭）とも２万７５００円を割れば急激に戻りを入れており、当面の下値はこの水準のようである。

戻りメドとしては一目均衡表の転換線（２万８０９１円２４０円２１銭）、１５日の窓埋め（２万８２４０円２１銭）、右肩下がりの上値抵抗ライン（２万８５００円処）があげられよう。鍵を握るのはクレディスイスの買戻しであるが、２７日、２８日にはＦＯＭＣが控えているため、買戻し一巡後には模様眺めになる可能性が高い。３０日には決算発表のピークを迎えることもあり、今週は個別株物色の展開となろう。今週は２万７５００円から２万８５００円を想定する。

（ハチロク）

東京五輪がスタートした（国立競技場）

NYダウの日足チャート

日経225先物の日足チャート

星野三太郎の株街往来

～政治不信に怒りを示せ！～

東京都議選の結果や西村大臣による飲食店への融資圧力発言を受けてか、筆者の居住する地域でも自民党議員の広報活動が目立ってきた。

駅前や大型ショッピングモール前での演説は、普段なら地元の市会議員や維新の議員をよく見かけるが、７月に入ってからは衆院選中しか見かけることがなかった自民党議員が駅前で熱心に演説を行っていた。感染対策や五輪開催などでの不手際に加えて、申請しても支給されない支援金など、現政権への不満は誰もが鬱積しているだろう。先の西村大臣発言に対する世間の批判は想像以上に強く、秋の衆院選を待たずに慌てて地元に帰って前倒しで行っているように見えた。

思い起こせば、東日本大震災と原発事故での対応の不味さが民主党政権崩壊の序章となった。危機対応ができない意味では立憲民主党として組織を一新した野党第一党も同じであり、自公がダメなら野党に入れる選択肢にならないと思っている有権者は多いだろう。

その結果、投票したい政党がないから選挙に行かなくなる有権者も国をダメにする一因。もっと政治家に怒りを示すべきだろう。

New product

カプコン　Netflixで全世界同時配信

モンスターハンター:レジェンド・オブ・ザ・ギルド

モンスターハンター：レジェンド・オブ・ザ・ギルドの日本語ロゴ

カプコン（９６９７）は、「モンスターハンター」シリーズ初のＣＧアニメ映画「モンスターハンター：レジェンド・オブ・ザ・ギルド」を、８月１２日からＮｅｔｆｌｉｘで全世界同時配信する。

「モンスターハンター:レジェンド・オブ・ザ・ギルド」は、「モンスターハンター４」や「モンスターハンター：ワールド」に登場したキャラクターに焦点をあてたオリジナルストーリーを描いた作品。ゲームのコアファンのみならず幅広いユーザー層が楽しめる作品を目指し、世界的なコンテンツ作品を数多く手掛けるピュア・イマジネーション・スタジオ社が制作を担当。世界最大級の動画配信プラットフォームであるＮｅｔｆｌｉｘを通じて全世界に配信され、さらなるユーザーベース拡大を図る。

日本トリム　新色モデルWEB限定発売

電解水素水整水器「TRIM ION CURE」

ＴＴＲＩＭＩＯＮＣＵＲＥ３色

日本トリム（６７８８）は「連続生成型電解水素水整水器　ＴＲＩＭ　ＩＯＮ　ＣＵＲＥ」の新色モデル「プラチナグリーン」「シャンパンゴールド」を、ＷＥＢ限定で発売している。

ＴＲＩＭ　ＩＯＮ　ＣＵＲＥは、ボタンひとつで電解水素水、浄水、酸性水を簡単に選択することができ、胃腸症状を改善する効果が認められた管理医療機器で初期カラーのシルバーベージュが発売されていた。「プラチナグリーン」は、美しいグリーンでキッチンのアクセントにもなるカラーで、「シャンパンゴールド」は、キッチンをよりシンプルに自分好みに変えることができるカラーリング。

記者の視点

相場見通し

4連休明けは買戻し

日本電産の好決算が追い風

7月第4週は、19日のニューヨーク市場で3指数揃って急落した流れを受けて、225先物のナイトセッションでは2万7060円まで急落、日経平均もこれに追随するかたちで2万7330円の安値を付けたが、その後はニューヨーク市場の反発と買戻しの流れを受けて4連休前の21日は日経平均で2万7548円まで戻して引けている。

国内では引き続きデルタ株による新型コロナの感染拡大が売り材料にされていたが、19日は欧米でもデルタ株感染拡大による経済への影響が懸念されリスク回避の動きになった。ただ、その後は「デルタ株感染拡大にもかかわらず、米国の経済指標は悪化していない」との見方から買戻しの動きとなり、ニューヨーク市場は19日の急落前の水準まで戻している。国内では東京都を中心に感染が急速に拡大しているものの、ワクチン接種の進展で高齢者を中心に重症化率が抑制されていること、菅義偉首相が米ファイザーCEOとワクチン供給前倒しに向けて直接協議を行うことが報じられており、過度な懸念は後退している。

感染拡大への懸念が高まるなかで、2月高値に絡む8月中旬の絶対期日に向けた売りが前倒しで出たことも下落に拍車を掛けたようだ。21日のナイトセッションで225先物は2万7910円まで上昇しており、4連休明けは買戻しの動きから2万8000円台回復を期待したい。

26日からは3月期企業の第1四半期（4～6月）発表が本格化する。21日引け後に発表された**日本電産**（6594）は連結営業利益で前年同期比60・3％増の445億5500万円と大幅増益となっている。主力企業の好決算が相次げば、需給悪で大幅調整した1部銘柄は値ごろ感からも見直し買いが活発化しそうだ。指数構成銘柄では29日発表予定の**ファナック**（6954）の内容に注目したい。

当面のスケジュール

- 22日　ECB定例理事会（ラガルド総裁会見）
  米6月中古住宅販売件数（23:30）
- 23日　東京オリンピック開催（～8/8）
- 26日　6月全国百貨店売上高（14:30）
  新型コロナウイルスワクチンの接種歴を証明する「ワクチンパスポート」、全国の市区町村窓口で申請受付け開始
  独7月Ifo景況感指数（17:00）
- 27日　6月企業向けｻｰﾋﾞｽ価格指数（8:50）
  FOMC（～28日）
  米5月S&PコアロジックCS住宅価格指数（22:00）
  米7月CB消費者信頼感指数（23:00）
- 28日　7月15・16日開催の日銀金融政策決定会合の「主な意見」
- 29日　米4-6月期GDP速報（21:30）
- 30日　6月失業率・有効求人倍率（8:30）
  6月鉱工業生産、6月商業動態統計（8:50）
  米6月6小売売上高（21:30）
  独4-6月期GDP（17:00）
  ユーロ圏4-6月期GDP（18:00）
  米6月個人所得・個人支出（21:30）
- 31日　中国7月製造業PMI、中国7月非製造業PMI、中国7月コンポジットPMI（10:00）

編集後記

6場所連続休場明けで進退を懸けて臨んだ名古屋場所、白鵬が全勝で45度目の優勝を決めた。ただ、千秋楽の照ノ富士戦の立ち合いで見せたカチ上げは急所の喉元を狙った肘打ち、大怪我につながりかねない荒技で以前から批判を受けていた。横綱として品格に欠けるといった声が上がったが、本人が勝ちたい、あるいは勝たなければならない理由がある限り、反則でなければ止めることはない。

多国籍企業への課税強化に向け国際的ルールも変更の方向。大相撲もルール見直しが必要かも知れない。

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測の的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。